

## 第1回 聖籠町立小学校児童の通学のあり方検討委員会 議事概要

日時：令和元年12月26日（水） 19：00～20：30

場所：聖籠町役場3階 大会議室

委員出席者

全委員（欠席者なし）

事務局等出席者

全員（欠席者なし）

次第

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 委嘱状交付
- 4 委員自己紹介
- 5 会長及び代理者互選
- 6 議題
  - (1) 町立小学校児童の通学のあり方について
  - (2) その他
- 7 閉会

### 1 開 会

○事務局

定刻になりましたので只今から「第1回聖籠町立小学校児童の通学のあり方検討委員会」を開催します。

### 2 教育長あいさつ

○教育長

年末の忙しい中、また一日のお勤めを終えられた後にお集まりいただき感謝申し上げます。

この委員会におきましては、少しでも子ども達の通学負担の軽減が図られるように、児童の通学のあり方についてご検討をお願いしたいと思います。

第1回の会議では通学の現状を説明させていただき、第2回目、第3回目には検討すべきことについて委員の皆様からそれぞれの立場からご意見をいただき、委員会としての方向性をまとめていただけたらと考えています。

第4回目ではまとめていただいた方向性について事務局が整理し提示しますので、確認いただけたらと思います。

現時点では4回を予定していますが、進み具合では第5回を行うことも考えられますので、予めご了解願いたいと考えます。

### 3 委嘱状交付

《教育長から代表委員へ交付》

### 4 委員自己紹介

《順次自己紹介》

## 5 会長及び代理者互選

≪「事務局一任」の声により、会長に1号委員の元亀代小学校長の岩田委員を推薦し全委員が承認≫

≪代理者については会長から事務局案を求められ、6号委員の山倉小学校運営協議会会長の高橋委員を推薦し全委員が承認≫

## 6 議題

### ○ 会長

大任を仰せつかり不安なところもありますが、皆さんにご意見をいただき進めたいと思いますのでよろしくお願いします。

この検討委員会で検討した結果をどのようにしたらいいかというところですが、検討結果を意見書として教育委員会に提出したら良いのではと考えていますがいかがでしょうか。

≪全委員承諾≫

そのように進めたいと思います。

それでは「町立小学校児童の通学のあり方について」事務局から説明をお願いします。

### ○ (1)町立小学校児童の通学のあり方について、会議資料に基づき事務局から説明。

### ○ 会長

事務局の説明が終わりましたので、質問がありましたらお願いします。

### ○ 委員

検討するにあたって資料が足りないと思います。各集落から学校までの距離が分かる資料や地図があった方が検討しやすいと思います。

### ○ 事務局

次回用意させていただきます。

### ○ 委員

大夫興野、旭ヶ丘、藤寄で一番近い所はどれくらいか。

### ○ 事務局

大夫興野集落の中心地で2kmちょっとのところですが、浦山地区も入れると2.5kmになります。

### ○ 委員

毎朝子ども達の登校の様子を見ていますが、1・2年生でバスに乗って来る子は日によっても違いますが、多くて10人前後で雨が降ると保護者が送ってくるのでバス利用人数は4・5人になる。

3年生では保護者が毎日送ってくる児童もいます。前の2年生が今年3年生になる時に「来年もバスを利用させて欲しい」という要望があったことを聞いていましたが、それを認めてしまうと循環バスの定員を超えることが考えられるので「分かりました」ということは言えなかったと聞いていました。

### ○ 会長

3年生の話について事務局の方には何かいっていますか。

### ○ 事務局

こちらにも3学年以上についても、何かしらの対応をお願いしたいという要望をいただいております。

- 会長  
検討委員会でも対象児童についての検討材料の一つになろうかと思えます。
- 委員  
町の財政が厳しいという話ですが、その資料がない中で何を検討すればいいのかと思ったときに、今1・2年生が2.5 kmを歩いていて3年生になったときに、その距離が体力的に妥当ということを検討すれば良いということか。
- 事務局  
徒歩以外の通学について、どのあたりの児童まで対応したらいいのかということを検討していただけたらと考えます。今のところ、こちらで案は持ち合わせていません。
- 委員  
学校間で認められる距離が異なることはないですね。  
予算など確定的なものが無い中で、何を決めればいいのか見えてこない。
- 事務局  
各小学校で対象距離を変えることは考えていませんし、統一的な考え方を作り上げて行きたいと思っています。  
財政的なことについては、今後「これぐらい掛かるのかな」というところは示して行きたいと思えます。
- 委員  
3年生以上を認めるということを検討するのか、若しくは学年の違いによる2.5 kmを歩くことの妥当性を検討すればいいのか。
- 事務局  
学年ごとの人数はこちらで確認することにはなるとは思いますが、現在集落の中でも低学年を対応していますが、学年を区切ると登校班という別の問題も出てきますので、6年生までを一定の要件の中で、バスを利用するとした方が良いのかなと思っています。
- 会長  
現状としては1・2年生を対象としてきたが、通学班や6年生も含めた通学のあり方について、どうあれば良いか意見書としてまとめる方向でよろしいか。
- 事務局  
その方向でお願いしたいと思えます。
- 委員  
徒歩通学が基本であると思えますが、通学路に歩道は全部整備されていますか。その確認も必要だと思えます。
- 事務局  
どちらかというとなりが多い方が多く、特に集落内は無いのが殆どだと思っています。  
資料として提出できるとは思いますが、努力したいと思えます。  
補足ですが、通学路については各学校の方で作っていますので、学校の方が詳しいと思えます。
- 委員  
スクールバスありきの話ですか。新たに小規模の車を購入して経費が掛からないようにするのか、町の園バスを利用しながらやってくる話なのか。  
なお、現在は循環バスで送られて学校の前まで来ますが、スクールバスは学校の前まで送る必要はないと思っています。途中で外の登校班と合流して歩く距離を作

るやり方もあると思います。藤寄や旭ヶ丘は杉谷内まで送るとか。歩いて来る子とバスに乗ってくる子では不公平感があるので、少しでも歩いて登校する形を残して欲しいと思います。

○ 事務局

スクールバスについては、町が持っているバスも使って少しでも安価に出来ればと思っていますし、学校の前まで送るといのはいかがなものかといのは、貴重なご意見として、次回以降整理していただければと思います。

○ 委員

山倉小学校の送迎が用務員という事だが、どのような方なのか。また、甚兵衛橋の児童が蓮野の入り口まで保護者に送ってもらって、そこから一緒に登校班で登校しているという事を聞いていますが、そのあたりはどうか。

それと冬の登下校のあり方も検討されると思うので、実際小学生がどのようなところを通して登校しているのかを実感するのも良いと思います。

○ 事務局

用務員は中学校に勤務している用務員です。甚兵衛橋の状況は把握しています。実際歩いてという事ですが、本検討委員会では通年という事で冬に限定しないという事を考えております。

○ 会長

皆さんからご意見を伺いたいと思います。

○ 委員

来年度新一年生になる子がどれくらいいるのか教えてもらいたいと思います。

○ 会長

次回でもよろしいですね。(委員うなづく)

○ 委員

知り合いで、山倉地区の女子でバスを利用できない日もあり、また、高学年とも下校できないときは親が仕事を早めに切り上げて帰らなければいけないことが何度もあった。働いているお父さんお母さんからしてみると、「家についているのかな」と不安を抱く保護者もいるので、早めに対策を練って事故や事件がないように子どもたちが通えるようになってもらいたい。

○ 委員

個人的には歩くことは大事だと思いますが、社会情勢の変化も考慮して考えなければいけないと思います。

もうひとつは、保護者がどこまでできるのか。学校までではなく途中まで送るとか、みんなと一緒に歩く経験をさせてあげるのも大事なかなと思います。

○ 委員

亀代小学校の学校評価の中で、マイクロバスを要求する声が出ていて、亀代でも遠いところは2.5 kmあると思います。蓮野学区、山倉学区でバスを出していることを保護者は分からないと思うので、情報が発信されていけば「私も、私も・・・」という声が出てくると思うが、そうなった場合亀代学区でも出してもらえるのか。

中学校でも冬期バスを出しているが、一番近くで乗っている生徒の距離が知りたいです。

○ 事務局

亀代学区の距離については、改めて資料として出したいと思います。冬季バスについては基本的に3 kmというところではありますが、それよりも近い人で何人か乗

っていますし、全体の割合としては4分の1を占めています。

基本的に今は認めています。冬期バスのあり方についても平行して進めて行きたいと思っています。具体的に何kmとは申し上げられませんが、現在は要望すれば応えているのが現状です。

○ 委員

6 ページで「保護者の送迎、循環バスの利用による通学」とありますが、私たちが検証する「バス等」は、循環バスを含めないでスクールバスのことを言っているのかなというのが一点。

新発田市と胎内市の例が出ていましたが、距離で区切った時にどれくらいの予算が必要になるのか。

スクールバスが必要だとなっても「予算が厳しいからだめです」となった場合、何のために検討していたのかという事にもなるので、「他市町村の例からすると聖籠町でやってみるとこれくらいの予算になる」というのがあると助かります。

また、各集落の幼児や児童の数も分かれば「持続性」についての検討材料になると思います。

○ 事務局

「等」には、スクールバスや乗用車も想定しています。

算定については、これからやっていきたいと思います。

「持続性」については、財政面についてのことを考えています。

○ 会長

「持続性」については、教育委員会に言えば何とかなるという特別事情ではなく、委員会で方向性を出して、その中で持続して行けるというところを共通理解していけば、教育委員会に要望がいくのではなく、新入生が入っても説明ができて持続性のある事業ができると思います。

○ 委員

私は徒歩通学が基本だと思います。距離制限はない方が良いと考えます。

毎日蓮野小学校前に立っていますが、平均すると15人は送迎されてきます。

バスに乗っている子は8人くらいです。

下校時はバラバラなので見守りは無理です。

バス利用だけでなく、色々な方法がありますのでそれらを含めて対策を考えたら良いと思います。

○ 会長

検討すべき内容としては、①送迎の対象とする児童の範囲、②送迎の方法、③利用者負担の財政上の問題があると思います。

みなさんから意見をいただきましたので、次回以降整理をしながら現状を踏まえて検討して行きたいと思っています。

そのほか事務局から何かありますか。

○ 事務局

特にありません。

○ 会長

本日の会議はこれで終了したいと思います。お疲れ様でした。

(文責は事務局。事後修正する場合があります。)